



# 就職活躍事例

前本 洋幸 さん（ものづくり機械加工科）

## 1. ポリテクセンターの訓練を受講するきっかけ



前職ではパチンコ店で機械を分解して故障原因を調べる業務を行っていました。その業務にはとてもやりがいを感じていましたが、生産業にも携わってみたいという思いもありました。退職を決意し、お世話になったお店の店長より、職業訓練という進路があることを教えてもらいました。すぐにハローワークに行き、そこでものづくり機械加工科を紹介してもらいました。訓練内容に興味を沸き、見学説明会にも行ってみました。そこで訓練が行われている実習場や、使われている機械を見て、ますます意欲が高まりました。そして、訓練を受けスキルを身に付けて再就職をめざそうと思い、受講を決心しました。

## 2. ポリテクセンターの訓練について



訓練は皆ゼロからのスタートなので、焦らず一緒にスキルアップをしていくことが出来ます。また、いろいろな機械に触らせていただけるので、自分の適正を知ることが出来ます。指導員の先生方は丁寧に教えてくれるため、日々何かを身に付けて帰ることが出来ます。そして、実際の企業に連れて行ってもらう工場を見学させていただくことができます。事業内容や職場の雰囲気等を詳しく知ることが出来、規模が大きい会社も小さい会社もどちらも見せていただけたので、進路選択に大いに役立ちました。

## 3. 訓練受講中の就職支援について

就職支援アドバイザーの方には職務経歴書、履歴書等の書き方からまとめ方まで丁寧に教えていただきました。また、企業の面接の心構えについてもアドバイスをいただき、内定を既にいただいている中で、他の企業を受ける際の気持ちの整理まで一緒にしていただき、とても心の支えになりました。

## 4. 訓練を検討されている方へのメッセージ

訓練が行われる施設は大きく、実際に触ることが出来る機械や設備も充実しています。少しでも迷っているなら見学説明会に行ってみるのもオススメです。訓練が行われる実習場の見学や、先生への質問も直接することが出来るので、来てみればわかることが多いと思います。機械加工に携わったことがない人でも、実際に訓練を受けてみれば、いくらでも失敗が出来ますし、先生は怒らずに教えてくれます。ぜひ受講をご検討してみてください。

## 就職先企業での活躍

### 前本 洋幸さんの業務

金型製造技術習得のため、現在、刃物の切れ具合の感覚をつかんでもらうため金型加工の基本となる汎用 NC フライス盤を使って金型のエジェクターピン穴(φ0.6~1.2)のドリル加工を手動で行ってもらっています。



### 採用企業の声 専務取締役 上原 貴司 様

前本さんは何事にも積極的で、この金型製造の仕事を知りたいとの意欲を感じます。真面目に一つ一つ新しく教えた仕事を確実にものにしていきます。金型製造技術を習得して第一線で活躍されることを期待しています。

### 有限会社正栄工作所（兵庫県川西市久代1-1-11）

プラスチック金型の設計・製造を行っています。昭和50年の創業来、40余年にわたり家電、OA、医療、自動車関連部品を中心にさまざまな工業製品の製作を手がけてまいりました。また、近年では試作・開発事業に参入。多岐にわたる業種の開発案件にあらゆる手法による「ものづくり」を提案できる体制を整備しております。

これまで培ってきた金型製造の技術に加え、新たな事業領域への参入により更なる成長を遂げ、ものづくりのトータルソリューション企業として社会貢献いたします。

